



「喜んで失敗しろ！」

く元サッカー日本代表主将から若者に向けてく

みなさん あけましておめでとうございます。昨年は、能登半島の地震などがあり、大変なスタートを切ったわけですが、今年は穏やかなお正月であつたのではないのでしょうか。私も田原出身の吉居駿恭選手が活躍する箱根駅伝を見ながら、のんびりしたお正月を過ごしました。

学校は、一月七日から無事スタートしました。始業式の校長の式辞は、一年の始まりですので、生徒や先生たちのやる気が出ることを話したいなと思っています（なかなか、それが難しいのですが…）。

今年は、冒頭の「喜んで失敗しろ」という元サッカー日本代表の主将の長谷部誠さんの言葉を紹介しました。他にも、パナソニックの創業者松下幸之助さんの言葉「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる」「失敗の原因を素直に認識し、『これは非常にいい体験だった。尊い教訓になった』というところまで心を開く人は、のちのち進歩し成長する人だ」「失敗することを恐れるよりも真剣でないことを恐れたい。誠実に、謙虚に、熱心にやることである」など、生徒たちに紹介しました。

中学生は 人一億、他人の目が気になる年頃です。失敗を恐れず挑戦することの大切さは知っていても、なかなか勇気が出ないものです。そこで、もう一つ生徒たちに話しました。

「みんなが失敗を恐れずチャレンジするためには、もう一つ条件があるのではないかと思います。それは、『失敗しても大丈夫』という雰囲気を作ることです。学級や学年、学校のみんなが、『ナイス、チャレンジ』とか『大丈夫、大丈夫』とか『どんまい、どんまい』と励ましあう雰囲気があれば、チャレンジはしやすくなることでしょう。そんな福江中になってもらいたいし、みんなならきつとそんな福江中にする事ができると思います。」

今、日本中の学校で、「教室に入りづらいなあ」、「学校に行くのがづらいなあ」と感じている生徒がいます。そんな生徒が少しでも安心してできる環境をみんなで作りたいと思い、「心理的安全性の高い学校づくり」をテーマに今年度は学校運営をしています。

温かく励ましあう仲間と共に、のびのびといろいろなことにチャレンジする生徒の姿がたくさん見られることが、私の願いです。今年も、昨年同様、保護者の皆様や地域の皆様をはじめとした多くの皆様に助けていただき、応援していただければ幸いです。

どうぞ、よろしく願います！



合唱祭「輝け 私たちの想い」 ～行事で頑張る～

11月7日(木)、コロナ後初めて保護者の皆様に来ていただき、合唱祭が行われました。渥美文化ホールに福中生の力一杯の感動的な歌声が響きました。来年は、地域の皆様にもぜひ見に来ていただけたらと思っています。



市内一斉防災デーで活躍 ～地域の一員～

11月16日(土)は、市内一斉の防災デーでした。何かあったときには、福江中学校の生徒たちが必ず役に立つと思っています。参加した中学生に役割を与えてくれた自治会もあったようです。ありがとうございます。



チーム渥美半島に手紙を託しました・・・ ～ボランティア～

12月4日(水)定期的に能登半島に支援物資を運んでいる「チーム渥美半島」の山本さんに、「震災にあった人に元気を送ろう」と全校生徒で取り組んだ応援はがきを手渡しました。これは、2学期の初めに山本さんが学校に来て、「もし、よかったら…」と福江中生徒会に呼びかけてくれたことがきっかけでした。地域の方にも心を育てていただいています。本当にありがたいことです。



まるまる一日！ 高校生活体験 ～2年生進路学習～

2年生は、12月13日（金）に福江高校で、高校生活体験を行いました。福江高校とは連携型中高一貫校として、行事などで交流をもっています。その一環で、今回は、まるまる一日の高校生活体験をさせていただきました。授業を受けさせていただいたり、高校生と一緒に活動させていただいたり、とても勉強になる一日でした。もちろん購買にも行ってきました（笑）。



地域の方との座談会 ～3年生総合的な学習～

10月23日（水）、地域の方に来ていただき、3年生が「これからの田原市について」座談会を行いました。地域の皆さんと話すことで、今まで知らなかったことやいろいろな考え方を知ることができました。



【編集後記】「市町村対抗駅伝」と「命の講演会」

年末の市町村対抗駅伝では、田原市は見事に6位入賞を果たしました。福江中からは、3年生の小久保拓馬さんと2年生の齋藤姫衣さんが出場し、チームの上位進出に貢献しました。補欠で参加した橋本愛友美さんを含め、選手の皆さん本当にお疲れさまでした。



福江中では、地域の皆様が生徒の教育にとってもよく関わってくれます。それがとてもありがたく、いつも嬉しさを感じています。11月19日（火）には、潮音寺の宮本住職の紹介で岩崎順子さんが、和歌山県から「命の講演会」に来てくれました。

「お父さんがなくなったとき、子供たちがお父さんの体を触りにいき、だんだんと死を実感していった…」等具体的な話を織り交ぜながら、命の尊さを教えていただきました。感謝、感謝、皆様に感謝の2024年でした。

